

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育の在り方を考える。

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。また、今年度も昨年度と同様に、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、研修を深めていきたいと考えた。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月7日(金) 13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 旧田中銀行と大善寺見学コース

- ・旧田中銀行の見学と説明
- ・大善寺の見学と講話

イ 釈迦堂遺跡とフジッコワイナリー見学コース

- ・釈迦堂遺跡の見学
- ・フジッコワイナリーの見学と説明

ウ シャトー勝沼とワインカーヴ見学コース

- ・シャトー勝沼の見学と説明
- ・ワインカーヴの見学

エ 葡萄工房ワイングラス館と休息山休息山立正寺見学コース

- ・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験
- ・休息山休息山立正寺の見学と講話

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月11日(水) 14:00～

(2) 目的 中学校の授業を参観し、情報交換及び交流会を通して小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 中学校の授業参観

ア 授業提供 勝沼中学校 全学級

イ 交流会

「1学年分科会」

「2学年分科会」

「3学年分科会」

- ・甲州市プロジェクト・校内研究の各校の取り組みについて
- ・中学校の授業を参加した感想（小学校の先生方から）
- ・小学校の子どもたちの様子（学習面・生活面等）
- ・小中連携に関して（必要なこと、お互いへの要望）

3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月20日（水）15：30～

(2) 目的 思春期の子どもたちの発達心理面での変化を知ること、今後の指導に生かしていく。

(3) 内容 講演会とブロック研究会のまとめ

演題 「小学生から中学生へ

～思春期の子どもについて知っておきたいこと～

講師 甲州市スクールカウンセラー 長尾 雅裕先生

まとめ 今年度のブロック研究会の成果と課題

III 成果と課題

- ・第1回の臨地研修では、各小学校区にある歴史的な建物や産業などについて、より詳しく学ぶことができ、地域に目を開くことができた。
- ・第2回の勝沼中学校の授業公開では、中学生の様子や甲州市のプロジェクトにそった勝沼中の取り組みを実際に見ることができ、学習を深めることができた。授業では、小中の連携を強化するという意味で、授業の最後に小学校の先生がその参観した授業の感想をいうという場面を持つことができた。
また、その後の研究会では、各学校の市のプロジェクトにそった取り組み内容を聞けたり、小学校と中学校の先生方が交流しながら話し合いを深めることができた。
- ・第3回目の講演会では、長尾雅裕先生に「小学生から中学生へ～思春期の子どもについて知っておきたいこと～」という演題で話をして頂いた。実際に「猛獣狩り」などのエンカウンターをしながら、児童・生徒に対しての関わり方について考えを深めることができた。その後、来年度の方向性について話し合った。
- ・臨地研修の場所が同じ場所になってしまうので、変えていく必要がある。
- ・第3回目のブロック研究会は、小中の連携をより深めると考えると、授業参観にしてもよいのではないか。

（ブロック長 天野秀太郎）